

Vol.226



私を育てた お薦めの一冊

ビジネスパーソンにとっての読書とは。県内で活躍する大学教授や経営者に読書のこつや仕事の糧となった読書体験を聞いた。あなたも夏休みの時間に本を手にとってみては。 (佐藤栄宏)

貴重な夏休み…本に触れませんか？

橋本学長
提案

忙しいビジネスパーソンに
向けた本の選び方

STEP1

著者と出版社を見る

- 著者の経歴や、出版社の専門分野を調べる。
- 時流に乗って専門分野以外の本を出している著者や出版社には注意が必要。

STEP2

目次と前書きを読む

- 本の構成はしっかりとしているか。目次を見て、可能なら拾い読みも。

STEP3

オンライン書店の読書レビューを読む

- 高評価、低評価に目を通してどのように読まれているかを参考にする。

読書術を身に付けて成長しよう

日本文理大学長
橋本堅次郎さん

本との出会いは人生を変える。座右の書や新しい本が自分を成長させる。人生100年時代の現在、学び始めることに遅いと言ったことはない。ただ、現在のビジネスパーソンは忙しい。周囲には情報があふれ、交流サイト(SNS)のチェックにも忙しい。どうやって本に出会うか、どのように本を読むか。知識や情報を得る読書法と自分自身を育む読書法を工夫して身に付けてほしい。

細切れの時間を使う

知識や情報を得る読書。隙間時間の活用をするなど、時間管理術によって時間を確保したい。朝10分、昼食後の10分、夕方10分など細切れの時間を使って読むスイスチーズ法がオススメ。他にも1章ずつ、1章の中を10分ずつでもよい。連続で長い時間をかけて読まなくてもよい。

知識や情報を得るためのビジネス本や評論本であれば、必要どころや興味のあるところしか読まなくてもよい。しかし、大局観や世界観、人生観といった自分自身を育む読書は、じっくり時間をかける、何度も読むといった読書法を心がけてほしい。

読書で気になった点はメモするとよい。頭の中に入ったものをアウトプットすると記憶に残るからだ。ノートでもよい。私は、音声入力できる、メモアプリをスマホで活用し見直すようにしている。簡単に使える技だ。

自分がビジネスを進める上で抱えている課題や困ったことなどを日頃から明確に意識しておく、書店で何げなく見ても本の題名や見出しが目に入りやすくなる。一方で課題を意識していないと、どんな本を読んでも無駄になることが増えるだろう。

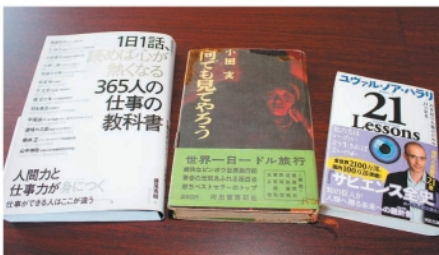
相手のメガネを通す

読書の対象(中身)をしっかり観察してほしい。自分の価値観のメガネだけで見てはもったいない。自分の考えだけで見てしまえば、異なる考え方を退けがち。「どうしてそう考えるのだろう」と、相手のメガネを通して観察することで世界が広がる。

私は会社時代に困難な課題に何度も遭遇したが、何年も前に読んだ本から解決へのヒントがふと浮かんできたこともあった。読書は、自分を助けてくれる先人の知恵が入った「引き出し」を頭の中に準備することにもつながっている。



はしもと・けんじろう
1955年、日田市生まれ。慶応大学経営管理研究科
修了。75年、百貨店の岩田屋に入社。経営コンサルティング
会社、ピエトロなどを経て、2011年に日本文理大経営
経済学教授。21年から現職。



橋本さんの人生を変えた本は
小田実著「何でも見てやろう」
(中央)。小学5年生のころ、
父の書棚で見つけたという。

2、3面に続く